



議会が議場を飛び  
出します！

四国中央市議会

第6回議会報告会

〔日時〕

平成27年5月30日(土)

午後7時～

〔開催場所〕

東会場・妻鳥公民館

(参加予定議員)

|       |       |
|-------|-------|
| 石川 剛  | 三国 政  |
| 大野 勝  | 三好 平  |
| 河村 郁男 | 三宅 繁博 |
| 山本 照男 | 菊田 清秀 |
| 吉田善三郎 | 青木 永六 |
| 谷 國光  | 石川 秀光 |
| 越智 滋  |       |

西会場・豊岡公民館

(参加予定議員)

|       |       |
|-------|-------|
| 眞鍋 幹雄 | 後藤 光雄 |
| 山川 和孝 | 谷内 開  |
| 篠永 誠司 | 井川 剛  |
| 原田 泰樹 | 石津千代子 |
| 飛鷹 總慶 | 曾我部 清 |
| 西岡 政則 | 三谷つぎむ |

**\*ぜひご参加ください**

主催 四国中央市議会

(お問い合わせ)

四国中央市議会事務局

電話 0896-28-6048  
Fax 0896-28-6148



### 主な内容

- ① 代表質問……………P35～P34
- ② 一般質問……………P34～P31
- ③ 委員会の審査概要……………P30～P29
- ④ 議決結果一覧……………P28～P27
- ⑤ 賛否の状況……………P27

平成27年第1回定例会は、去る3月3日から3月26日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会には、平成27年度一般会計予算を初め、市長提出議案59件、諮問1件、意見書2件、請願2件、陳情3件が上程されました。

**リフォーム**  
住む人の事を考えて  
快適な暮らしを  
サージ ご提案をするワン！  
真心込めたご提案 リフォームのサージ  
TEL 0120-046-302  
四国中央市川之江町1655-3  
川之江駅通りアーケード内 **興陽商事(有)**  
売土地募集中! 0896-58-5298

イベントや記念品・贈答品に  
しこちゅ〜ティシュー  
好評発売中 300円  
ネオローションティシュー 120W3個パック  
**株式会社 ヨンパ**  
オリジナル BOX ティシューの  
リフレッシュパックをぜひお試しください。  
TEL 0896-58-5298  
www.yonpa.com

アイフルホーム 川之江店 (カジワラホーム株)  
cesbo セシボは「ずっと…」がつづく家  
詳しくはWebへ  
スマホ対応しています  
カジワラホーム株式会社 検索  
愛媛県四国中央市妻鳥町1210-1 TEL.0896-56-7701

# 代表質問

質問は抜粋し、要約しています。

## 新政・公明クラブ



越智 滋 議員

### その他の質問

○津根工業団地の整備について

○教育委員会制度の改革について

#### ◆第2次総合計画と地方創生について

**質問** 本市における地方創生の取り組みについて伺う。

**答弁** 本市を含む多くの自治体では、平成27年度中に地方版人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定を目指している。本市では、第2次総合計画の中で、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来を3つの協働推進重点プロジェクトの共通課題として全庁的な取り組みを進める方向性としており、前期基本計画におけるプロジェクトのアクションプランとしての策定を進める。

#### ◆新庁舎建設について

**質問** 今年度の取り組み状況及び来年度のスケジュールについて伺う。

**答弁** 平成26年4月より経営企画課内に庁舎整備係を設置するとともに、新庁舎建設を担当する参与を置き、重要課題に取り組む体制を構築している。また、8月に策定した基本構想では、新庁舎建設に関する基本的な考え方やスケジュールを示しており、諸問題に対し関係各所との調整を図りながら、本年5月の基本計画策定に向けて作業を進めているところである。

#### ◆新年度予算について

**質問** 交付税の合併算定が終了に伴う段階的縮減の影響について伺う。

**答弁** 本市での合併算定が終了に伴う影響額は、当初19億円減少するとの見込みが、6億円程度の減少になると考える。平成27年度予算における一般財源総額の影響額は、平成26年度ベースで試算した結果、1.4億円程度の減少と見込んでおり、当初予算の編成に当たっては、重要施策の財源確保を含めた対応として、2億円の財政調整基金繰入金を計上している。

#### ◆公民館整備計画について

**質問** 公民館整備10カ年計画の整備方針について伺う。

**答弁** 現状の小学校区に1館を基本として、将来人口の予測に基づき、公民館の適正規模を設定し、避難所としての機能や必要に応じて市民文化ホールとのネットワークが図れるような多目的ホール機能を整備したいと考えている。また、市民の将来負担軽減を考え、耐震補強ではなく改築による整備と定期的な改修により施設の長寿命化を図っていく方針である。

## 創政クラブ



吉田 善三郎 議員

### その他の質問

○市民文化ホール建設について

#### ◆まち・ひと・しごと創生と第2次総合計画について

**質問** 本市における地方創生の取り組み状況と今後の予定。また、第2次総合計画との連携は。

**答弁** 本市においては、第2次総合計画の基本構想の将来像にある「四国のまんなか 人がまんなか」のまちとして、若者を含む全ての方が幸せ感をもって暮らせるまちづくりを目指し、今後進める地方創生総合戦略の取り組みの中で、きりと光る施策を考えてまいりたい。

#### ◆川之江地区まちづくりについて

**質問** 整備していく範囲、具体的事業内容、スケジュールについて。

**答弁** 整備範囲は、JR川之江駅からおよそ1キロメートル圏内で、事業内容は、川之江公民館、川之江児童館、川之江老人憩いの家などを集約した地域交流センターの整備、かわのえ高原ふるさと館の収蔵、展示機能の強化、公民館跡地におけるにぎわい広場の整備などを計画している。事業全体のスケジュールは、平成27年度から31年度までの5カ年を予定している。

#### ◆子ども医療費無料化拡大について

**質問** 愛媛県内の子ども医療費助成の実施状況について。

**答弁** 中学3年生まで医療費無料化を行っているのは、上島町、松野町、久万高原町の3町で、小学6年生まで無料化しているのが、内子町、砥部町である。また歯科限定で、新居浜市で小学6年生まで、西条市で中学3年生まで助成している。愛媛県内では本市が市としては初めての中学3年生までの医療費無料化を実施することとなる。

#### ◆国民体育大会えひめ大会について

**質問** 本市における各競技施設の整備内容と、その整備進捗状況、あわせて事業予算と財源について。

**答弁** 浜公園川之江野球場については、スコアボード、隣接する駐車場等、伊予三島運動公園については、公園内と体育館内の放送設備、野球場のスコアボード等、スカイフィールド富郷については、得点板等の整備を予定している。事業予算については、平成27年度当初予算において、都市公園事業及び体育施設整備事業の関連予算を一部計上している。

本会議での発言を記録した3月定例会の『会議録』を、6月上旬に市役所本庁、各庁舎及び図書館に備えます。また、四国中央市ホームページの「議会情報」にも全文掲載しており、検索も可能ですのでごらんください。

## 日本共産党



三好 平 議員

### その他の質問

○地域の力を生かす産業振興が求められている

○戦後70年、平和と民主主義が花開く政治に

#### ◆市は住民の暮らしを守る「防波堤」になろう

**質問** 幼稚園、学校給食は自校方式が最善と考える。

**答弁** 学校給食における自校方式、センター方式については、どちらにも長所と短所があり、今後の計画策定に当たっては、短所をいかに補い「安全・安心でおいしい給食」を提供するかという視点が重要である。基本構想(案)がまとまった時点で広く意見を募るとともに、基本構想を具現化する段階において、学校や関係者の御意見を聞き、計画に反映させるよう努めたい。

#### ◆住民の命と財産を守る防災・減災を最優先に

**質問** 南海トラフ大地震を想定した当市の工場群への取り組み、考え方は。

**答弁** 本市の臨海部を中心に重油などの危険物や毒劇物が保管されており、予防課において定期的に設備等の査察を行い、不備について改修を指示している。事業所においても、従業員等の安全を確保するための津波避難路を定めた南海トラフ地震防災規定も策定するなどの取り組みを行っているが、より一層関係者や関係機関等と連携を強化し、市民の安全確保に努めたい。

#### ◆国の言いなりか、住民自治と自治体機能の再生か

**質問** 地方創生は道州制の準備段階、地方の再生につながるか。第2次総合計画との整合性は。

**答弁** 国の地方創生総合戦略においては、地方都市におけるコンパクト化と公共交通網の再構築等の推進により、暮らしの環境と充実を図り、まち・ひと・しごと全体の好循環実現を目指すとしている。本市においても平成27年度からの第2次総合計画に基づき、未来につながる都市整備の推進として集約型都市構想による川之江地区のまちづくりを計画している。

#### ◆市民の暮らし優先の財政運営を求める

**質問** 箱物建設中心の財政運営を市民の暮らし優先に。

**答弁** 財政調整基金等の積み立てについては、地方財政法第7条に規定される地方財政の健全性の確保という観点に基づくものであることを御理解願いたい。また、新年度予算においても、小中学校施設の耐震化や中学校卒業までの医療費完全無料化、太陽光発電設備設置補助事業など、市民にとってより重要な施策から優先的に予算配分を行っているところである。

# 一般質問



紙面の都合上1議員1問の質問を掲載しています。

#### ◆学校トイレの洋式化について

**質問** 学校トイレの洋式化率で高いところと低いところでは10倍の差があります。排せつは健康を維持するための生理現象です。それを満たしていることが勉強の大前提です。また大災害時には、避難所として使われることから、計画を立てトイレの洋式化の整備を進めるべき。

**答弁** 教育総務課長



谷内 開 議員

小中学校の洋式トイレ整備率は、校舎の改修や改築年度の新しい学校が高い傾向にある。大規模災害時に避難所となる小中学校施設のトイレについては、児童生徒だけではなく、地域住民の誰もが使いやすいことが大切であり、高齢者や障害者の方々への配慮の観点からも、洋式化を図ることが望ましいと考えている。これまで耐震化工事等の際に改修を行ったケースもあるものの、トイレの洋式化を含む老朽化対策は、今後取り組まなければならない課題であると認識している。全ての学校を短時間で整備することは財政面から難しいが、整備率の低い学校から計画的な整備を図りたいと考えている。

その他の質問 ○プレミアムつき商品券について ○マイナンバー制度について

ブライダルに前することなく、お任せ下さい。

5/10 **ブライダル フェア**

6/7 10:00~17:00

ホテルグランフォーレ 平日相談会開催中!

四国中央市三島朝日1-1-30 TEL0896-23-3355

J.Aうまテイサービスセンター

**あったか荘**

三島 中之庄町1684-9 TEL:24-6712  
川之江 貴島町1525 TEL:58-2132  
七尾 土居町土居385-1 TEL:74-0150  
電話予約 8:30~17:00  
温泉・お風呂・お食事・お飲み物

医療保険が使える

**訪問マッサージ**

歩行困難・麻痺や拘縮等の症状の方  
お電話でお気軽にお問い合わせ下さい。

和み RAGOMI

和み 四国中央店

0120-774-753

住み慣れた地域で、にこやかに幸せに生活していただけます。

Sun Family サンファミリア

サンファミリア西国中央、サンファミリア プライムタイムみしま

お問い合わせは 0120-652-350

http://www.sunfami.net

**婚活パーティ開催します!!**

「今年こそ!!」本気で婚活してみたい方集まれ!

5/24(日) 14:00~17:00

男性:5,000円 女性:3,000円 結婚しあわせたまご

ライブインの結婚相談所

しあわせたまご

0897-47-0688

(株)エヒメしろあり研究所

**あっ!と思ったら**

あっ!と思ったら

0896-74-4892

0897-47-0688

### ◆介護に関連して伺う

**質問** 平成27年4月からの介護保険制度の改正内容について伺う。また、本市においては、介護保険料はどうかととも、介護サービス利用者の負担はどのようになるかあわせて伺う。



山川 和孝 議員

**答弁** 副市長、福祉保健部長

改正内容は多岐にわたるが主な点として、介護報酬の改正、低所得者への保険料軽減強化、特別養護老人ホーム入所要件を原則要介護3以上などが挙げられる。介護保険料については基金の取り崩し等、その上昇抑制に努めてきたが、給付費の急激な伸びに加え、基金の枯渇による借り入れ返済の必要があることから、平成27年度からの介護保険第6期においては、基準月額で6,840円の負担をお願いすることとなる。また、介護サービスを利用されている方の負担については、介護報酬の引き下げにより利用者負担は減少すると思われるが、一定以上の所得がある方については1割の利用料が2割となるほか、負担限度額の上限が引き上げられることとなる。

**その他の質問** ○市内企業合同就職説明会について伺う ○学校給食について伺う  
○幼児教育について伺う ○地域の道路建設について伺う

### ◆防災教育について

**質問** 防災減災に向けて、防災教育は大変重要な分野であり、子供たちには地域を動かす力があると思います。そこで、教育委員会主導で幼保小中高の子供たちが、今回完成した我がまちの防災センターの機能を知ることや防災体験学習を受けられるよう、御一考されることを思う。



眞鍋 幹雄 議員

**答弁** 副市長

教育委員会の管理下にある公立幼稚園と小中学校については、教職員による事前見学を行った上で、発達段階に応じた体験・見学コースを考えることとしている。また、これ以外にも、消防車や救急車、高機能消防指令センターの見学等ができると伺っており、子供たちにとって将来の職業観を醸成する目的からも大変魅力的な施設と言える。将来の我が国を支える子供たちが防災の柱である共助を中心に、実践的な防災学習を積み上げることは、自他の命を守り、未来の命を紡ぐことにつながることから、消防本部と教育委員会が密に連携を図り、消防防災センターを積極的に活用していく所存である。

**その他の質問** ○地域文化について ○書道パフォーマンス甲子園について

### ◆地域コミュニティの意義と可能性について

**質問** 少子高齢化の進行による地方自治体の消滅を防ぐためには、これまで以上の地域のつながりが重要となってくると考えられるが、その地域のつながりを深め、強めるためと思われる地域コミュニティ活性化事業の意義と目的について伺います。



石川 剛 議員

**答弁** 市民環境部長

当事業は、高齢化や人員不足等により十分な活動ができなくなったコミュニティが単独では解決が困難であった課題に対し、それぞれが持つ強みを持ち寄り、解決に導いていくことを目的としている。事業実施に先立ち、市内20公民館で趣旨を説明し、モデル地区を募集したところ、豊岡・川滝・燕崎地区より応募があり、3地区全てがモデル地区として選定に至っている。事業の取り組みの中で住民同士の連帯感の醸成や、地区住民のきずな再生による地域力の強化が図られることに最も期待を寄せるところであり、これは本市が目指す協働によるまちづくりの構築が進展することにもつながると考えている。

**その他の質問** ○学校配置計画について ○震災後4年の今日の防災への取り組みについて

### ◆過疎地域自立促進計画について

**質問** この計画は、新宮地域には適用されるが、嶺南（金砂・富郷）地域には適用されない。合併して行政単位が統合されており、サービスのさらなる向上のため、両地域を1くりに捉える制度改革と中山間地域の振興に特化した体制づくりを提案する。



河村 郁男 議員

**答弁** 総務部長、総務課長

過疎地域は、過疎法に規定された要件を満たし、市町村単位で指定されることとなっている。新宮地域は、合併後も特例的に引き継いで指定区域とみなされているが、嶺南地域は旧伊予三島市全域では該当しなかったため、過疎地域の指定とならず、四国中央市全域での適用もない。過疎法の失効期限が5年間延長されたことにより、新宮地域の過疎計画については、平成28年度から32年度の5年計画を新規に策定する予定であり、過疎法の理念と住民意見等を反映した計画を策定し、過疎債の適用がある事業についてはこれを財源として計画の具現化を図る考えである。

過疎法…過疎地域自立促進特別措置法 過疎計画…過疎地域自立促進計画

**その他の質問** ○新庁舎の会議室等のデザインについて ○市職員の年齢別構成のアンバランスについて

### ◆合併振興基金を含む100億円余りの積立金を住民の暮らし応援に

**質問** 庶民の暮らしは、消費税の増税や国保、介護保険料の負担増で大変な状況にある。国による交付税算定の見直しにより、100億円に余る積立金はため込み過ぎとなり、せめて1割でも庶民の暮らし応援に回し、負担軽減に努める必要があると考えるがどうか。



三谷 つぎむ 議員

**答弁** 企画財務部長

新年度予算においては、子育て支援策としての中学校卒業までの医療費完全無料化や住宅リフォーム助成事業、さらには、太陽光発電設置補助事業など、まさに住民の暮らし応援のための予算計上に努めており、これらの財源確保に対応するため、2億円の財政調整基金繰入金を計上している。

**その他の質問** ○市民文化ホール設計委託料及び子ども若者発達支援センター設計委託料について  
○高齢化社会に対応した施策の展開を ○豊寿国民営化は住民の願いに逆行している  
○子ども・子育て新制度の問題点について ○障害者・児の施策のおくれはどうか

### ◆男女共同参画について

**質問** 国では、女性が活躍しやすい社会をつくっていこうと女性活躍推進法案が提出されている。2020年までにあらゆる分野の指導的地位の3割以上が女性となるような社会を目指すと言われている。本市でも第2次四国中央市男女共同参画計画に取り組みされており、その概要について伺う。



石津 千代子 議員

**答弁** 市民環境部長

現在策定中の第2次四国中央市男女共同参画計画（以下、「第2次計画」と記載）は、第1次計画に基づく施策や事業の進捗状況及び課題を整理し、社会情勢の変化や国、県の計画等を踏まえて、より実効性のある計画にしたいと考えており、市民アンケートの結果や懇話会での市民の方々からの御意見をもとに、啓発活動の推進、防災分野における男女共同参画の視点、推進体制の強化を新たに重点施策と捉え、第2次四国中央市男女共同参画計画委員会において審議していただくこととしている。また、第2次計画は、平成27年度から36年度までの10年計画とし、計画推進の新たな目標値を設定し、市民や団体と協働で推進していく体制づくりにも努めたい。

**その他の質問** ○ブックスタートと学校図書室について ○向山古墳の関連について

### ◆2015国勢調査の取り組みについて

**質問** 今年は、5年ごとに行われている国勢調査の実施年となる。その国勢調査から得られたさまざまな統計のうち、人口は地方交付税の算定に用いられるため、多くの人口が確定するよう調査漏れがないことを望むが、その取り組み等について伺う。



後藤 光雄 議員

**答弁** 総務部長

前回調査では、個人情報保護の過剰なまでの意識の高まりに加え、住基登録しながらも長期間不在の方が調査対象とならないことや施設入居あるいは入院している方の回収率が低かったことなどを背景に、調査人口と住基人口が乖離した結果となったが、今回の調査からは、従来からの紙ベースでの調査票による回答に加えて、パソコンやスマートフォンなどからでも回答が可能となるオンライン調査方式を導入する予定であり、この導入により、その乖離が改善され前回調査より精度が高まると期待している。また、議員御指摘の調査員への指導等も行い、漏れなく正確な国勢調査の実施に努めたい。

**その他の質問** ○消防団員の確保対策 ○個人住民税の特別徴収完全実施への取り組みについて

### ◆中田井浄水場更新整備の住民説明会における要望について

**質問** 将来は、本庁舎、消防防災センター、中田井浄水場と四国中央市の3つの拠点施設を結ぶ主要な道路となる市道、一貫田中田井側道線を拡幅して2車線にすることができないか。また、農道中田井18号線の配水本管布設工事に際して、災害時に避難経路となる当農道の拡幅ができないのか。



西岡 政則 議員

**答弁** 建設部長、水道局長

一貫田中田井側道線は、道路幅員については、5メートルから7.3メートルで、通常の車両通行においては支障を来すまでには至っていないと考えているが、市の3施設を結ぶ行政の主要道路としての2車線化については、今後、各施設の利用状況、通行車種や交通量等の動向により検討していきたい。また、水の安定供給のためには、更新施設からの配水を施設完成後速やかに開始することが最も重要で、そのためには平成27年度から配水本管布設工事を開始する必要がある。農道中田井18号線の拡幅については、今回の工事とは切り離れた上で、関係部局と連携して今後研究していきたい。

**その他の質問** ○中田井浄水場の現状と更新整備事業などについて

### ◆最後まで 350 床の中核病院建設実現を求めるべき

**質問** 愛媛県と四国中央病院は、市内の地域医療再生には核となる 350 床規模の病院が必要としてきたが、ここに来て三島医療センターに 40 床持たせ譲渡を計画。四国中央病院は 305 床で新病院建設の方針が出されているが、市民の命を守るとりとして 350 床の病院建設を求めるべき。



青木 永六 議員

**答弁** 市長

市が直接経営に参画しているわけではないが、中核病院の建設には、9 万市民の健康と命を守っていかねばならないという視点で取り組んでいる。病床数については、より多くの臨床研修医に来てもらえるような病院の規模として、300 床を超えることが重要であると考えている。現状の医療を取り巻く環境や今後の医師確保等、さまざまな要因を考慮し、40 床を三島医療センターに残し、別の事業者運営に委ねることもあわせて、公立学校共済組合及び県と協議を重ねてきたものである。

その他の質問 ○介護保険問題について ○集会所改修工事のあり方について

### ◆がん対策での検診受診率向上や、患者の就労支援、がん教育についてお伺いします。

**質問** 国の施策で、検診率 50% の目標が提示されましたが、本市はいかがでしょうか。私も推進しているコール・リコール対策で、該当者に合わせての時間帯を狙い、日夜、時間帯をやりくりするなど、大変御苦労をおかけしておりますが、現状と御見解をお聞かせください。



国政 守 議員

**答弁** 保健推進課長

本市では、広報折り込みによるチラシの全戸配布を初め、各保育園、幼稚園、小中学校等の保護者にチラシを配布するほか、さまざまな保健事業の折にも受診勧奨に努めている。また、未受診者対策としては、個別にがん検診勧奨はがきを送付するとともに、夜間や休日に電話による受診勧奨を実施し、一定の効果が得られている。今後も引き続き、がんに対する正しい理解の普及、啓発に努めてまいりたい。

その他の質問 ○経済再生、地方創生の推進について

### ◆学校の教育現場におけるガバナンスには問題がある。

**質問** 学校教育の現場や教育の社会にも間違いや勘違いはあると思うが、率直に認めることから、建設的な議論が可能であると考え。特に学校現場は、どんな問題にも正面から向かい合う姿勢が望まれるが、一般社会と比較するとその意識が極めて低いように思われるが。



谷 國光 議員

**答弁** 教育長

学校も教育委員会も、直接話し合うことを通して、解決の道を探るのが適切であると考えて対応している。言葉の行き違い等は起こり得ることであるが、互いの考えや判断の原因を明確にするためにも、話し合いの場を設けて問題を解決することが肝要であると考えている。

## 議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所 5 階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、傍聴してください。

また、本会議の様子は市役所 2 階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

四国中央市 議会中継

検索

3 月定例会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています（放送時間等は不定です）。

## 常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。  
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

### 総務委員会

◎飛鷹 總慶 ○石津千代子 石川 剛 国政 守 ◎委員長  
三好 平 篠永 誠司 ○副委員長

#### ●議案第 7 号「四国中央市基金条例の一部を改正する条例について」

**質問** 基金の目標額はあるのか。

**答弁** 新庁舎建設に合併特例債を活用するが、基金は、95% 充当した残りの 5% の一般財源と起債対象外経費となる引越費、システム移転費や備品購入等に使う予定である。目標額は設定していないが、起債以外の経費もかなりかかるため、一度に負担にならないようにできる限り多く積み立てたい。

#### ●議案第 30 号「平成 27 年度四国中央市一般会計予算」所管分

**質問** 計画策定支援業務は公共施設の更新計画に関するものと理解するが、過去策定した統廃合計画との整合や、公民館の 10 カ年整備計画にも反映していくのか。また、公共施設の更新等の計画策定については市民、地域への説明が重要と思うが今後の対応等に含めて説明を願う。

**答弁** 国のインフラ長寿命化計画を受け、国から策定の要請があるもので、今後、公共施設等を整備する際、社会資本総合整備補助金等を受けるためには、本計画がないと対象とならないため、平成 27 年度から 28 年度にかけて策定したい。コンサルティングに支援業務を委託する予定ではあるが、コンサルティング任せにするのではなく委員会等を設置して、市民とともに検討していく。なお、計画では公共施設等の更新の基本方針を策定するものである。本市公共施設の市民 1 人当たりの延床面積は 6.08 平方メートルと県下でも広がっており、今後、削減を検討していかねばならない。

平成 21 年に策定し、保留となっている統廃合計画（案）については、第 2 次総合計画の行政改革推進プロジェクトの取り組みとしても、その取り扱いを検討していきたい。

### 教育厚生委員会

◎三宅 繁博 ○河村 郁男 大野 勝 谷内 開 ◎委員長  
山本 照男 西岡 政則 三谷つぎむ ○副委員長

#### ●議案第 8 号「四国中央市立幼稚園保育園等徴収条例の一部を改正する条例について」

**質問** 保育料が応能負担になることに伴い、負担増となる方がふえるのではないかとと思われるが、全体的な保育料の方向性について伺う。

**答弁** 多子世帯やひとり親世帯に対しては減額措置を設けるなど手厚い内容となっており、当該措置により市全体の保育料収入としては本年度と比較して大幅な減額となる見込みである。  
保育料については経過措置を行いながら段階的に増額することとしており、全体的には無理のない負担になると考えている。

#### ●議案第 11 号「四国中央市立特別養護老人ホーム及び四国中央市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について」及び 議案第 55 号「財産の無償譲渡について」

**質問** 介護と医療の連携については、医療経営を行っている事業所が施設運営に当たることによる有用性に一定の理解をするものであるが、そうではない事業所が施設を運営している事例もある。

仮に民間譲渡の理由として、介護と医療の連携による施設経営の改善を目指すのであれば、公的な施設としての住民サービスの観点からは理由として妥当とは考えられないが、いかがお考えか。

**答弁** 民間移譲に対する基本的な考え方として、これまで住民サービスの需要に応えるために行政が担ってきた事業が民間においても提供できる分野となってきたことが上げられる。

介護と医療を連携させた運営形態をとっている事業所も多く見受けられ、これは利用される方に対するサービス向上を目指したものであることを御理解いただきたい。

#### ●議案第 30 号「平成 27 年度四国中央市一般会計予算」所管分

**質問** 生活困窮者自立支援事業について、事業総額及び内容、対象者の見込みを伺う。

**答弁** 平成 27 年度より始まる当該事業は、社会福祉協議会に委託して行う相談事業及び住居確保支給金の交付が主な内容であり、事業費の大半は人件費が占めることとなる。事業総額は、相談事業委託金 1,450 万円、住居確保支給金 106 万 8,000 円のほか就労支援事業を含め 1,762 万 1,000 円で、その 4 分の 3 が国庫負担金である。

また、対象者の把握は現状において非常に困難であり、モデル地区においても同様の状況である。事業実施と並行して、対象者の把握に努めたいと考えている。

# 常任委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています。  
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中。

## 環境経済委員会

◎原田 泰樹 ○吉田善三郎 後藤 光雄 ◎委員長  
苅田 清秀 青木 永六 越智 滋 ○副委員長

### ●議案第9号「四国中央市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について」

**質問** 医療機関を受診した際の手続きを伺う。

**答弁** 乳幼児の医療費助成と同様に、県内の医療機関では、原則として健康保険証と受給資格証の提示で自己負担なく受診することができ、県外の医療機関では、健康保険証を提示し自己負担分を支払い、その領収書を持って市の窓口で自己負担分を請求することになる。

### ●議案第30号「平成27年度四国中央市一般会計予算」所管分

**質問** 観光費、コミュニティサイクル事業の詳細を伺う。

**答弁** 平成26年度に実施した四国中央市発足10周年記念事業の四国中央サイクリングの継続版となるサイクリング大会で、事務局を四国中央市観光協会に委託し、実行委員会等の組織体制を充実させ、大会に向けて準備を進める考えである。

なお、日程やコース等は実行委員会で協議することになるが、愛媛県がサイクリングの日の制定を検討していることから、県とも連携を図りながら進めていきたい。

### ●議案第31号「平成27年度四国中央市国民健康保険事業特別会計予算」

**質問** 保険財政共同安定化事業において、これまでは30万円以上の医療費が対象であったものが、平成27年度からは全ての医療費に拡大されるとの説明であったが、実務的にはどのようなものか。

**答弁** 保険財政共同安定化事業の対象が、全ての医療費に拡大されることにより、歳入歳出とも予算の増額となっている。保険財政共同安定化事業は、保険財政の安定化や市町村格差の平準化を図るためのもので、平成27年度からその対象が全ての医療費に拡大されたことにより、全ての医療費を都道府県単位で調整し、市町村には交付金が交付されることになる。

### ●議案第47号「平成27年度四国中央市津根工業団地造成事業特別会計予算」

**質問** 今後事業を進めるに当たり、地元の方の同意は得られる見通しなのか。

**答弁** 津根工業団地造成事業については、許認可と地元同意が大きな柱になってくる。

平成26年5月には、土居町土地改良区、農業委員会、地権者等に対する説明会を実施しており、説明会を欠席された地権者に対しては、個別に訪問し説明を行っている。その中で、大半の方は事業実施に理解を示されている。

## 建設水道委員会

◎曾我部 清 ○石川 秀光 眞鍋 幹雄 ◎委員長  
山川 和孝 井川 剛 谷 國光 ○副委員長

### ●議案第20号「平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第7号）」所管分

**質問** 繰越明許費補正で浸水対策事業が含まれている。平成27年度から建設課の浸水対策係が下水道課の雨水対策係に移行されるということは、平成26年度でこの事業の大きな計画は終了したということなのか。また、今後はどのように計画を進めていく予定なのか。

**答弁** 浸水対策事業については、平成16年度の浸水被害による大型施設についてのみ行ってきた。下水道事業は汚水、雨水両方の事業を行うことから、来年度より、浸水対策については、下水道課において大きな計画の中で行っていくことになる。浸水対策事業は、平成19年度から随時事業を行っており、今までに約22億円の事業費を投入しており、宮川ポンプ場や東宮、馬場ポンプ場などの大型施設については一区切りがついた。また、北野地区の雨水排水路などの事業は継続し、来年度以降の新規事業については、下水道課において雨水計画を立てた中で行うようになると考える。

### ●議案第30号「平成27年度四国中央市一般会計予算」所管分

**質問** 都市計画総務費の立地適正化計画策定事業とはどのような内容か。

**答弁** コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えから、にぎわいのある商業用施設や公共施設をまちなかに集めて中心市街地が拠点となり、拠点と拠点を公共交通で結ぶことを目指していく必要がある。市の財政状況や人口減少の中で、持続可能な都市経営のために必要な計画として立地適正化計画の策定を国土交通省が推進しており、それに基づき市でも計画を立てることになった。これは新しい制度であり、本市は第1陣の自治体の1つである。

**質問** 都市計画業務等委託料とはどのような内容か。また、この事業について、今後どのように周知していく予定なのか。

**答弁** 用途地域の見直しが進展し、7月1日に告示を予定しており、それに向けて販売している都市計画総括図の改訂と地図システムの改修を行う。また、ホームページに市民向けの拡大縮小可能な地図を掲載しているが、あわせて改訂する予定である。なお、パンフレットを配布し、広報においてもお知らせをして周知していきたいと考えている。

## 平成27年第1回四国中央市議会定例会 議決結果一覧

| 番号          | 件名   | 議決結果 |
|-------------|--|------|
| 議案第1号       | 四国中央市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について  | 原案可決 |
| 議案第2号       | 四国中央市障害児等福祉審議会条例の制定について  | 原案可決 |
| 議案第3号       | 四国中央市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について                       | 原案可決 |
| 議案第4号       | 四国中央市包括的支援事業の実施に関する基準等を定める条例の制定について  | 原案可決 |
| 議案第5号       | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等について  | 原案可決 |
| 議案第6号       | 四国中央市特別会計条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第7号       | 四国中央市基金条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第8号       | 四国中央市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第9号       | 四国中央市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第10号      | 四国中央市保育所条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 |
| 議案第11号      | 四国中央市立特別養護老人ホーム条例及び四国中央市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 |
| 議案第12号      | 四国中央市介護保険条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第13号      | 四国中央市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 |
| 議案第14号      | 四国中央市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について | 原案可決 |
| 議案第15号      | 四国中央市港湾施設条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第16号      | 四国中央市水道事業給水条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第17号      | 四国中央市防災センター条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 |
| 議案第18号      | 四国中央市消防本部及び消防署条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 |
| 議案第19号      | 四国中央市消防団条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 |
| 議案第20号      | 平成26年度四国中央市一般会計補正予算（第7号）   | 原案可決 |
| 議案第21号～第29号 | 平成26年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）ほか特別会計等補正予算8件  | 原案可決 |
| 議案第30号      | 平成27年度四国中央市一般会計予算  | 原案可決 |
| 議案第31号      | 平成27年度四国中央市国民健康保険事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第32号      | 平成27年度四国中央市国民健康保険診療所事業特別会計予算   | 原案可決 |
| 議案第33号      | 平成27年度四国中央市介護保険事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第34号      | 平成27年度四国中央市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算   | 原案可決 |
| 議案第35号      | 平成27年度四国中央市公共用地先行取得事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第36号      | 平成27年度四国中央市福祉バス事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第37号      | 平成27年度四国中央市港湾上屋事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第38号      | 平成27年度四国中央市西部臨海土地造成事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第39号      | 平成27年度四国中央市金子地区臨海土地造成事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第40号      | 平成27年度四国中央市寒川東部臨海土地造成事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第41号      | 平成27年度四国中央市下水道事業特別会計予算   | 原案可決 |
| 議案第42号      | 平成27年度四国中央市駐車場事業特別会計予算   | 原案可決 |
| 議案第43号      | 平成27年度四国中央市介護サービス事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第44号      | 平成27年度四国中央市簡易水道事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第45号      | 平成27年度四国中央市介護予防支援事業特別会計予算  | 原案可決 |
| 議案第46号      | 平成27年度四国中央市後期高齢者医療保険事業特別会計予算   | 原案可決 |

| 番 号         | 件 名  | 議決結果    |
|-------------|--|---------|
| 議案第 47 号    | 平成 27 年度四国中央市津根工業団地造成事業特別会計予算                | 原案可決    |
| 議案第 48 号    | 平成 27 年度四国中央市水道事業会計予算                        | 原案可決    |
| 議案第 49 号    | 平成 27 年度四国中央市簡易水道事業会計予算                      | 原案可決    |
| 議案第 50 号    | 平成 27 年度四国中央市工業用水道事業会計予算                     | 原案可決    |
| 議案第 51 号    | 平成 27 年度四国中央市財産区管理会特別会計予算                    | 原案可決    |
| 議案第 52 号    | 上野財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて                  | 同 意     |
| 議案第 53 号    | 燕崎財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて                  | 同 意     |
| 議案第 54 号    | 土居天満財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて                | 同 意     |
| 議案第 55 号    | 財産の無償譲渡について                                  | 原案可決    |
| 議案第 56 号    | 土地の処分について                                    | 原案可決    |
| 議案第 57 号    | 金子 1 号上屋新築工事（建築工事）変更請負契約の締結について              | 原案可決    |
| 議案第 58 号    | 三島小学校東校舎耐震補強工事請負契約の締結について                    | 原案可決    |
| 議案第 59 号    | 平成 26 年度四国中央市一般会計補正予算（第 8 号）                 | 原案可決    |
| 諮問第 1 号     | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                     | 異議なき旨答申 |
| 意見書第 1 号    | 三島川之江港の港湾運送事業法の指定港化に対する意見書について               | 原案可決    |
| 意見書第 2 号    | 海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める意見書について                  | 原案可決    |
|             | 陳情の取り下げについて                                  | 承 認     |
| 27 年請願第 1 号 | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願          | 継続審査    |
| 26 年請願第 4 号 | 自治体非正規雇用・公務公共関係労働者の雇用・待遇の抜本改善を求める意見書に関する請願   | 継続審査    |
| 26 年陳情第 3 号 | 海洋環境整備事業の充実と体制拡充を求める陳情                       | 採 択     |
| 26 年陳情第 4 号 | 「住宅新築資金等貸付事業の滞納問題」に関する陳情                     | 継続審査    |
| 26 年陳情第 5 号 | 家族従業者の人権保障のため「所得税法第 56 条の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情 | 継続審査    |

### 各議員の議案に対する賛否の状況 ※賛否の分かれた案件を記載しています。

○：賛成 ×：反対

| 氏 名      | 石川 剛 | 国 政 | 大 野 | 眞 鍋 | 三 好 | 後 藤 | 山 川 | 河 村 | 三 宅 | 谷 内 | 篠 永 | 山 本 | 苅 田 | 吉 田 | 井 川 | 原 田 | 青 木 | 石 津 | 飛 鷹 | 谷 | 曾 我 部 | 石 川 秀 | 越 智 | 西 岡 | 三 谷 |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|-------|-------|-----|-----|-----|
| 議案番号     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |       |       |     |     |     |
| 議案第 1 号  | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 5 号  | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 8 号  | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 10 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 11 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 12 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | 議   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 20 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | 長   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 30 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 31 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 33 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 34 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |
| 議案第 55 号 | ○    | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×   | ○   | ○   | ○ | ○     | ○     | ○   | ○   | ×   |

### 《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎苅田 清秀 ○後藤 光雄 石川 剛 大野 勝 河村 郁男 井川 剛 三谷つぎむ

※議会だよりは、年 4 回（5 月号・8 月号・11 月号・2 月号）広報との合併号になります。

【お問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川 4 丁目 6 番 55 号（四国中央市議会内） TEL 0896-28-6048

